

第2回 加古川中流部河川整備推進協議会 議事概要

1. 開催日時：平成29年3月29日（水） 15:30～16:45
2. 開催場所：西脇市内（マナビータ）
3. 協議会出席者
 - 国土交通省 近畿地方整備局 河川部長
 - 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所長
 - 兵庫県 県土整備部長
 - 兵庫県 北播磨県民局 加東土木事務所長
 - 西脇市長
 - 加東市長
4. 議事概要
 - ・加古川中流部の当面の整備目標、国県市の役割分担、フォローアップについての対応方針が確認された。
 - ・整備目標では、概ね10年間で、平成16年洪水（台風23号）と同規模の洪水に対する浸水被害軽減を目標に、近畿地方整備局、兵庫県、西脇市、加東市が連携し、築堤・河道掘削・堰改築等の河道整備を進めていく。
5. 各委員からの意見
 - (近畿地方整備局 河川部長)**
 - ・加古川中流部河川整備推進協議会の取り組みを踏まえ、近畿地方整備局では、平成29年度より、今後、概ね10年間で加東市滝野地区（河高・下滝野・上滝野）の築堤及び河道掘削を集中的に実施し、完成させる予定。
 - ・このうち、概ね5年間で築堤に必要な用地取得を完了し、特に、浸水頻度が高い加東市河高・下滝野地区の築堤等を早期に完成させたい。
 - (近畿地方整備局 姫路河川国道事務所長)**
 - ・事業を預かる事務所として、しっかりと事業を推進し、早期の浸水被害軽減に向け努力していきたい。今後、本格的に地元調整に入っていくこととなるが、引き続き関係各位のご協力をお願いしたい。
 - ・防災・減災に関するソフト対策について両市長から報告頂いたが、国・河川管理者としても、様々な取り組みを実施して参りたい。
 - (兵庫県 県土整備部長)**
 - ・加東市・西脇市域の治水安全度がバランス良く、スピード感をもって向上させるための整備内容等が具体的に示された。
 - ・県では、福地地区の暫定掘削を実施しつつ、滝野地区の整備状況をみながら津万地区の河道掘削を実施するといった、スケジュール感をもって整備を進めるとともに、杉原川では流下能力が低くなっている箇所への井堰改築に着手し、10年間で平成16年洪水と同規模の洪水に対する浸水被害軽減を図っていきたい。
 - ・河川対策だけでは想定外の洪水に対応しきれないため、加東市域の河高地区、西脇市域の福地地区ではモデル地区として総合治水対策に取り組んでおり、今後はその取組について広報を行い、市域全体に広めていきたい。

(兵庫県 北播磨県民局 加東土木事務所長)

・河高地区における支川対策について、具体的な整備目標や対応方針が示された。今後、国、県、加東市が協力して、検討を重ね、整備を進めていきたい。

(西脇市長)

- ・西脇市の治水安全度向上につながる、直轄区間の事業促進に大いに期待しており、国、加東市の取り組みに感謝する。また、県の治水事業についても、補正予算の確保など格別の配慮に感謝する。
- ・杉原川の井堰改修が円滑に進むよう、地元との調整を積極的に取り組んでいく。
- ・災害への危機意識を持ち続け、施設の能力を越える規模の災害に対しても、住民とともに対応し、人的被害をなくすようにしたいと考えている。

(加東市長)

- ・平成 16 年台風 23 号で大きな被害を受けた滝野地区の念願である築堤等による浸水被害対策が、今後概ね 10 年間で集中的に実施される目処が立ち、非常にありがたく心強く思っている。
- ・用地取得の実施や地元調整に際しては、引き続き国と連携し全面的に協力していく。
- ・築堤整備や支川対策が進んだとしても、施設の能力を超える規模の洪水は起こり得るという認識を持ち、引き続き、防災・減災意識の向上を図っていく。